



みずほ

第 12 号

平成18年6月1日

発行
岐阜県瑞穂市議会

編集
瑞穂市議会広報編集委員会

市議会だより



▲交通安全指導のようす。仲良く手をつないで気をつけて（＝南保育・教育センターにて）

平成18年第1回
瑞穂市議会
定例会

瑞穂市第1次総合計画の基本構想 2p

●平成18年 第1回・第2回臨時会 ... 5p

●一般質問 ～市政を問う～（10人） 7p

●議員研修報告 6p

●議員紹介 12p

瑞穂市第1次総合計画の基本構想

可決

平成18年第1回瑞穂市議会定例会が、3月3日から22日間の会期で開会した。本定例会には、市長から提出された議案32件のほか、議員が提出した意見書1件、決議1件などを審議した。

瑞穂市第1次総合計画の基本構想を定める議案が市長より提出された。この議案は、合併に際して策定した新市建設計画以降の社会情勢の急激な変化により、当市を取り巻く大きな環境変化を踏まえて、市民と行政が一体となったまちづくりを進める指針として、瑞穂市第1次総合計画の基本構想を決定するもの。

総合計画の基本構想とは？

総合計画は、自治法により自治体が定めなければならないもので、最も尊重しなければならない計画となる。基本構想・基本計画・実施計画の3つから成り立っている。基本構想とは、まちづくりを推進するための目標や政策、基本方針などを示したものだ。この基本構想を実現するために、政策や施策を具体化したものが基本計画。そして、基本計画を実施するために具体的な事業を示したものが実施計画である。(基本構想の詳細は、広報みずほ4月号をご覧ください)

議会では、総合計画特別委員会を設置し、これに付託して審査した。この議案に対する主な質疑と答弁

および討論は次のとおり。

質疑と答弁

Q だれもが生き生きと暮らせるまちづくりについて、「ノーマライゼーション」や「ユニバーサルデザイン」という言葉は書かれているが、総論の言葉として「バリアフリー」を入れるべきではないか。
A ノーマライゼーションの中にバリアフリーが入っていると考えている。この後の計画に、個々の事例としてバリアフリーが出てくる。

Q 地域住民がみずから考え提案するポトムアップ型のまちづくりというのは良いが、「陳情・要望型の市民参加」を否定するようで、「提案型の市民参加」と対立的に書かれているのではないか。
A 住民の方がみずから動いていたいて、その後、できないところを行政がやっていく、このようなことを育んでいく表現としている。

Q 東海環状自動車道や岐阜



南部横断ハイウェイなど、国・県レベルの話であるが、構想で表しておいてもいいのか。
A 東海環状自動車道や岐阜南部横断ハイウェイは決定していること。ただ、いつできるかということだけなので、構想には入れた。

Q 少子化対策を入れる必要があるのでは。
A 非常に大きな課題だと思う。その対策は、少子化問題に関連した個々の項目の中に含まれている。



討論

反対

・瑞穂市の将来像の中で、「陳情・要望型の市民参加」と「提案型の市民参加」が対立的に書かれている。「陳情・要望型の市民参加」を否定せず、要望型も提案型も両方受け入れる表現に改めるべき。
・行政の公的責任を明確にすべき。
・誰もが生き生きと暮らせるまちづくりには総論的な全体を表す言葉として「バリアフリー」という文言を入れるべき。
・住民が自治体の主人公であって、その前提に立って全体の奉仕者として住民に奉仕するということがなければなら

らないにもかかわらず、自分たちの自助努力でやりなさい、足りないところがあればやってあげますということでは、本来の自治体の責任と義務を放棄するものである。この基本構想はそういう思想で書かれている。

賛成

・ポトムアップ型のまちづくりが具体的に書かれている。
・総合計画審議会で議論を尽くされ、慎重に審議されたうえで答申されたものであり、内容的にも明確にビジョンが書かれている。
・基本構想は総論であり、その構想は慎重に審議されたものである。
・提案型の市民参加を育んでいけるものである。

特別委員会で採決の結果、この議案は賛成多数で可決され、本会議に報告された。本会議においても採決の結果、この議案は賛成多数で可決された。



人権擁護委員の推薦

定例会初日の3月3日、人権擁護委員候補者の推薦について、議会の意見を求める議案が提出された。

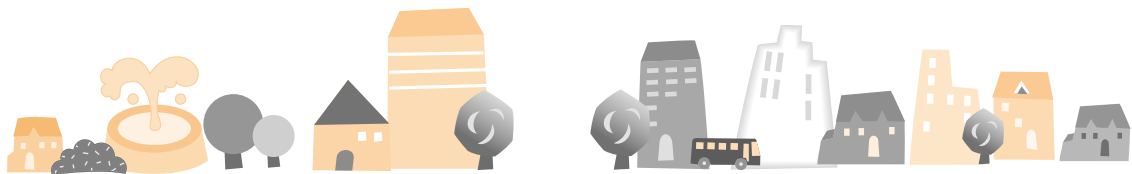
人権擁護委員とは、国民の基本的人権が侵犯されることのないよう監視し、自由人権思想の普及高揚に努めることを使命とし、法務大臣から3年の任期で委嘱される。

市長は、人格識見が高く、広く社会の実情に精通し、人権擁護について理解のある者を人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を聞くこととなっている。

市内には現在、5人の人権擁護委員が在職するが、このうちの1人、不破齋氏の任期が18年6月30日で満了する。今回の議案は、同氏を引き続き推薦するため議会の意見を求めるもので、議会は適任と決定した。

不破齋 本田1252番地

(敬称略)



意見書および決議の可決

定例会最終日の3月24日、次の意見書および決議を可決した。

「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書

国債残高は今年度末、約538兆円に達する見込みであり、国民一人当たり500万円もの債務を負う計算になる。これまで小泉内閣は、財政を健全化させるために歳出の削減に取り組み、5年前と比べると公共事業は20%、政府開発援助は25%の減となり、一般歳出全体を見れば社会保障関係費を除いて14%の圧縮をしてきた。しかし、高齢化の影響は大きく、社会保障関係費は5年前と比べて22%も伸びている。

今後、歳入や税制の改革は避けて通れないのが現状である。しかし、安易に増税論議を先行させるのは早計であり、まずは徹底した歳出見直し・削減が先決である。この際、徹底的に行政のムダを省くために、国の全事業を洗い直す「事業仕分け」を実施すべきである。「事業仕分け」は、民間の専門家による視点を導入して徹底した論議を行なうため、行政担当者の意識改革にもつながり、関係者の納得の上で歳出削減を実現しようとする点も評価されている。

既に一部の地方自治体（9県5市）では、民間シンクタンク等の協力を得て「事業仕分け」を実施。行政の仕事として本当に必要かどうかを洗い直し、「不要」「民間委託」「他の行政機関の事業」「引き続きやるべき事業」に仕分けた結果、県・市レベルともに「不要」「民間委託」が合わせて平均約1割に上り、予算の約1割に相当する大幅な削減が見込まれているという。

国民へのサービスを低下させないためには、「事業仕分け」の手法による大胆な歳出削減を行ない、そこから捻出された財源を財政再建に振り向けるだけでなく、その一部分は国民ニーズに応じて必要な新規事業などに活用するという、行財政の効率化を図ることが望ましい。「小さくて効率的な政府」をめざし、「事業仕分け」の断行を強く求めるものである。

(提出先)
内閣総理大臣 内閣官房長官

コミュニティバスの利便性向上に関する決議

公共交通対策については、瑞穂市第1次総合計画基本構想の基本方針「安全で快適なまちづくり」のなかで、交流を支える交通基盤の整備として、「高齢化の進展や環境問題への意識の高まりに留意し、バスや鉄道等の公共交通機関の利便性向上に向けた体制づくりや施設・設備の整備を進めます。」とある。さらに、公共交通の充実についての基本計画では、コミュニティバスの現状と課題で「利用者数は伸びてはいるものの、通勤・通学時間帯における運行体制の充実や路線網の見直し等が求められています。」との記述があり、施策の展開では「コミュニティバスの利便性向上」を掲げ、「利用の実態や需用、公共施設の配置状況、路線バスとの接続等を考慮しながら、利便性向上のための路線網の見直しと運行体制の充実に努めます。」と謳われている。

については、施策を実施するにあたり、コミュニティバスの利便性を向上させるため、下記の事項を特に留意のうえ実行されるよう決議する。

記

1. バス停を増設すること
バス停の増設は運行所要時間の増加につながる懸念もある。しかし、利用者がそれほど多くない現状では、乗降客のいないバス停は素通りするため、運行所要時間は大きく増加しないと判断する。したがって、バス停間の距離が長い区間や、市民の利用ニーズが予想される場所のバス停を増設すること。
2. さらに利便性の向上を図ること
市民の利用ニーズが高い人口集中地域、公共施設、大規模商業施設及び病院等への運行を検討し、利用者の増加を促進するとともに、さらに利便性の向上を図ること。
3. 瑞穂市第1次総合計画基本構想及び基本計画の早期実現を図ること
コミュニティバスに関する公共交通対策特別委員会の調査結果と瑞穂市第1次総合計画基本構想及び基本計画が掲げる目指すべき方向性は概ね適合している。については、コミュニティバス施策に関する基本構想及び基本計画を忠実かつ効率的に実行し、早期実現を図ること。

平成18年第1回臨時議会

平成18年第1回瑞穂市議会臨時議会が、2月2日に開催された。市長から提出された「平成17年度一般会計補正予算」1件を審議し、可決した。

提出された議案の概要は次のとおり。

穂積小学校は築30年以上経過し、各所にかかりの損傷が見られ、大規模な改修を必要とする時期に至っている。その方法として、当初は北倉から順次改修を進める方向で検討してきたが、中舎・南舎において若干の耐震補強の必要が判明したため、全校舎同時改修に変更した。このため、施工には春休みも利用する必要があるため、前倒して着工するため平成17年度一般会計補正予算（第5号）を提出するもの。

補正の内容は、穂積小学校大規模改修事業を実施するため、平成17年度の予算額に3億7740万円を増額し、総額を130億5917万円とするもの。

審議の主な内容は次のとおり。
Q トイレについて、照明が暗い、におう、床に水が

たまるといった問題はどうか。
A 照明は全面的に改修する。また、においや床の水の問題は、トイレを全面的に洋式にすることによって対応する。

Q グラウンドの整備が入っていない。雨が降ると非常にグラウンドが緩むような状態だがどうなっているのか。
A グラウンドに課題があることや、その改修について要望が強いことは認識している。しかし、教育委員会の施設整備にはほかにも幾つかの課題を抱えているため、優先順位を考えて進めていきたい。

Q 学校施設は過去の耐震調査では、基準を満たしているとのことだが、大規模改修を実施する場合には、より高い基準を適用すること。そうであれば、ほかの学校施設に関しても、一層の安全を確保するため、補強工事をしてはどうか。
A どの学校も整備し直していかなければならない時期に近づきつつあるという認識を持っている。学校ごとに程度や方法に違いがあるので、数年かけて順次体制を整えて着工していく。

平成18年第2回臨時議会

平成18年第2回瑞穂市議会臨時議会が、4月26日に開催された。市長から提出された専決処分の承認を求めた議案6件と、市給食センター厨房設備工事請負契約を締結する議案を審議した。

専決処分について5件は承認されたが、市税条例一部改正の専決処分案は、表記に複数の誤りが見つかり、全会一致で不承認となった。これにより、追加議案として修正案が提出され、可決した。議員からは、十分に

精査された議案の提出を求める決議（左記参照）が発議され、全会一致で可決となった。

また、その他の議案は原案のとおり可決し、同日に閉会した。

市給食センター厨房設備工事請負契約を締結する議案の概要は次のとおり。
給食センターを建設するため、厨房設備工事の契約をするにあたり、プロポーザルにより業者を選考した結果、岐阜アイホー調理機株式会社（株）が最も優れていたため、3億7千65万円での

契約の締結について議会の決議を求めるもの。
審議の主な内容は次のとおり。

Q プロポーザル審査委員に市関係者以外の者や、専門家が入っていないが、なぜ入れなかったのか。
A 給食センターの使い勝手ということで、使う人たちの意見を重視するため、携わっている人を主に審査委員を選考した。トップクラスの厨房機器メーカーを限定しているので、機器の性能については信頼している。

Q なぜプロポーザルにしたのか。
A 厨房機器は決まった形がないため、競争入札ができない。それぞれのメーカーが工夫している点があるので、どの機器がいいのか絞り込むことに重点を置くため、プロポーザルとした。

プロポーザルとは？
業者の提案内容と価格との総合的な評価で業者選定する方式

十分に精査された議案の提出を求める決議

本臨時議会において提出された専決処分の承認を求めた議案6件のうち、議案4件は市長から瑞穂市議会会議規則第18条の規定による「訂正の請求」があった。また、別の議案1件は、専決処分した改正条例そのものに誤りがあり、条例の誤りを正すための一部改正条例案が追加提出された。つまり、専決処分の承認を求めた議案6件のうち5件に何らかの錯誤があったことになり、十分に精査された議案が提出されているとは思われない。

については、議案を提出するにあたり、下記の事項を特に留意されるよう強く要望する。

記

1. 地方自治法第179条の規定によって専決処分する場合でも、法令審査委員会などにおいて十分に審査し、正確かつ適正な内容をもって専決処分をすること。
2. 法令審査委員会の委員には法制執務に精通した職員を任命するなど、議会に対しても十分に精査された議案が提出できるような体制を整備すること。
3. 今回のような事態が再び行われることの無いように、再発防止に努めること。

議員研修報告

●1月26日 愛知県田原市へ
●1月27日 東京都西東京市へ

1月26日

愛知県田原市議会へ行政視察に行きました。田原市は、平成15年8月20日に田原町と赤羽根町が合併して市制施行。その後、平成17年10月1日に渥美町を合併し、現在の人口は約6万6千人となっています。

視察では、合併後の議会運営および議会改革についてと、委員会主義への移行および特別委員会のあり方などについて説明を受けました。

合併時点では町議会の名残を残す議会運営であったが、市になったことから議会改革を行おうと議会運営委員会を中心に検討が進められました。「市民の信頼に応え、開かれた議会運営を目指し、活性化を進めるためのポイント」として、議会の審議の活性化と運営の円滑化、議会の公開の推進、議員研修の充実、議会の広報広聴の強化、議会事務局の充実強化の5点を基本方針とされました。その結果、議会で同じ政策、考え方を持つ議員の集まりである会派制をとり、政策研究のための政務調査費を支給し、議案の審査を委員会に付託する委員会中心主義に変更されました。

瑞穂市とは合併の時期および経緯などで類似する点も多く、有意義な視察研修となりました。



1月27日

西東京市は、平成13年1月21日に田無市と保谷市の2市が合併し、現在は人口約18万6千人となっています。

西東京市は全国でも先陣を切って合併し、「西東京市の事例に見る合併協議の実務」という本を西東京市の合併事務研究会が出版するなど、市町村合併に先駆者的な役割を果たした市です。合併して4年が経過した現在、旧市と現在とで議会活動の状況がどのように改革されたのか、先進事例市を調査研究するため視察研修を行いました。

西東京市では会派制をとっているため、議会運営委員会のほかに、各会派の連絡や協議などを行う会派代表者会議を設置しています。この会派代表者と議会運営委員で構成する調整会議で、議会運営にあたっての一定のルールが定められました。

説明を受けた後は、活発な質疑応答があり、最後に議場や委員会室を見学しました。



田之上字下高田地内の土地の経緯は

情勢に応じて計画が変わった

Q 田之上字下高田地内の土地取得から売買までの経緯について。

A 総務部長 昭和63年11月に旧南町の土地開発公社が一般廃棄物の処理場として取得。平成4年に公共施設整備事業用地として南町が再取得。行政財産としての利用を検討してきた

が、公共施設用地として利用されることなく、除草等の管理をしてきた。合併後、新市建設計画において、企業誘致の方向で検討していたところ、申し出があり、岐阜工業電子株式会社に売却した。

Q 土地開発公社が取得し

たら、その事業目的を果たすべきでないか。



若園五朗議員

A 総務部長 社会情勢の変化や、市の計画の変遷など情勢に応じて計画が変わってきた。用地を取得した目的でなくても、手続きがされていれば、収用特例の適用は認められる。

公共施設の緑化は

スペースの制限はあるが緑化に努めたい

都市整備調整監

Q 温暖化対策として循環型社会の定着が求められている。車の排出する二酸化炭素を緑に吸収させ、削減させるべきである。給食センターや本田コミュニティセンターなど公共施設の建設にあたって、緑の中にあるような施設とする考えは。

A 都市整備調整監 温暖化防止のため、緑を増やすよう努めなければならないと思う。公共施設の建設でも、スペースの制限はあるが、樹木や草花の植栽による緑化に努め、市内全域において緑を大切に育てていきたい。



堀 孝正議員



緑いっぱいの大月浄水公園

事業のアウトソーシングは

Q 市の事務事業について、17年度にアウトソーシングした業務および18年度以降に予定しているものは。

A 市長公室長 17年度は書庫の整理やデータベースの構築などの書庫文書管理業務、資料や申告書類の印刷・製本、通知書の封入、データ入力などをみずほ公社サービス株式会社へアウトソーシングしてきた。

18年度以降は、窓口の受付業務、広報紙発行業務などを計画している。アウトソーシングの推進と職員の定員管理の適正化を実施し、経常経費の削減を一層検討していきたい。

消防体制について

Q 国の消防力整備指針に合わせて、当市の消防体制は1署1分署となる。旧穂積町に本署、旧南町に分署を置く計画か。

A 市長 消防体制は、瑞穂市の地形、状況などから見て、1署1分署体制で整備すべきと考えている。



今後の消防体制は(=本巢消防の南署)

小学校へのみずほバス利用

Q 小学校の通学で、特に十九条や呂久は遠距離となる。この地区にはみずほバスが運行しているが、安全上からもこれを無料で利用できないか。

A 教育長 PTAの会議や地区懇談会でバスを利用したいという声は聞いていない。むしろ、徒歩で通学することは体力づくりにも

よいという声が出ていると聞いている。安全のためバス通学という考えも当然あるが、保護者の方の願いの関連の中で、バス通学のメリット・デメリットを考えていく必要がある。

地名地番の表示

Q 地名地番の表示を都市のように門扉や玄関、また道路の要所に設置してはどうか。

その他の質問

・登下校時の安全対策について
・瑞穂市の環状線道路の整備について

穂積駅周辺の開発は

市長 大きなエリアの中で捉えていきたい

Q 瑞穂市のまちづくりについて、穂積駅周辺の開発はどう考えているか。

A 市長 穂積駅は西濃地域と名古屋圏をつなぐ拠点と考えている。そういう意味で、基本構想の中に入れていく交流と連携において大きな役割を果たす場所である。ただ、大きな企画をするためにはスペースがない。その確保が課題ではないか。確保できるスペース

Q 商業地域の開発について、どのような話があるか。また、新たな飛躍を目指す企業に援助できるか。

A 市長 名古屋紡績の跡地利用に、大規模商業施設が検討されている。援助については、地域として必要な産業であるか、地域に大きく貢献してくれるかという物差しで判断し、地域にプラスとなる工場や産業であれば、応援していきたい。



改良された駅南の道路

Q 幼保一元化についてはどう考えているか。

A 市長 保育所は保育に



篠田 徹議員

ポイントを置きながら子どもをしつけていくという教育の分野、幼稚園は教育にポイントを置きながら子どもを見守っていくという保育の分野、というように少し性格を変えながら並行的に経営し、保護者の判断を仰いでいると考えている。また、18年度からは、保育所の枠を、教室に余裕があれば増やすよう指示してある。幼稚園へ5歳で行っている子どもが保育所に移ると、幼稚園に余裕が出る。その余裕が出た幼稚園で、今度は3歳、4歳児を受け入れていくという体制で、順次併設、移行させながら状況を見守っていきたい。

その他の質問

・未納税収納の考え方について
・介護保険料の値上げに対する市独自の政策について

教師の指導能力の識別は

教育長 明らかに見分けがつく

Q 学力向上アクションプランについて、当市の教育委員会は、教師の指導能力を識別できているか、また、教師を指導できているか。

A 教育長 子どもの学力を高めるためには、教師力を高める必要がある。教師力は各教師によって違うが、学校の指導的立場の人間が見れば、明らかに見分けがつき、的確な指導をしている。



外部人材の方に「ケナフの紙すき」を教えてくださいました（＝生津小学校にて）



浅野 榎雄議員

したもので、子どもに力をつけていく非常に大きな要素となるので、見識の高い方を学力向上アドバイザーという形で3人の方にお願いしている。研究推進会議へ

Q 学力向上のため、外部指導者と外部人材を導入するところがあるが、どう区別されているのか。

A 教育長 外部指導者は教師の教育指導力を高めていくため導入しているが、これについての検討は、

Q 市の公共施設でも借地地買収について

A 総務部長 財政の許す範囲内で借地を順次買収していきたい。

総合施設の取り組みは

市民部長 保育所に教育的要素を取り入れながら進めたい

Q 就学前の教育、保育、子育て支援事業を一体として捉えた総合施設について、市の取り組みは。

A 市民部長 総合施設は、都道府県が認定した幼稚園、保育所などの施設となっている。今年の10月より認定ことも園という名称で認定が始まる予定で、これはモデル的に始まること。当市としては、当分の間は保育所で教育的要素を取り入れながら、総合施設を目指す事業を進めていきたいと考えている。

Q 親の子育てに対する認識、理解を高め、子育ての

A 市民部長 公立の保育所は9カ所あり、そのうち延長保育は6カ所を実施、



松野藤四郎議員

喜びを実感できるよう、親が参加できる事業を幼稚園などで取り入れては。A 教育長 子どもを持つ親が子育てを勉強する機会として、家庭教育学級を保育所、幼稚園、小学校、中学校で実施している。また18年度からは、妊娠前から乳児の親を対象とした事業も計画している。

Q 待機児童の解消、延長保育や一時保育など、多様な保育サービスについての施策は。

A 市民部長 公立の保育所は9カ所あり、そのうち延長保育は6カ所を実施、



ほづみ幼稚園で開かれた家庭教育学級

乳幼児医療の無料化拡大を

市長 広域のバランスを考えて

Q 当市は、平成17年4月から乳幼児医療の無料化を、通院・入院とも小学校就学前までに拡大した。県では平成18年4月から小学校就学前までに拡大するよう、3月の議会で議論されている。実施された場合の助成は。

A 市民部長 現在、小学校就学前までの県の補助金は入院のみ。通院も助成されると約3700万円の増額助成となる。

Q 中学校就学前まで医療費を無料化した場合、どれだけの金額が必要か。

A 市民部長 現在の年齢構造の試算で4700万円

Q 市民部長 県より、原因者に継続的に指導し、早い時期の撤去を求めていると聞いている。

A 市民部長 栄養生センターに栄養生を配置してはどうか。

Q 市民部長 栄養士が必須な事業に、事業ごとの雇



市食生活改善協議会による親子料理教室の様子（＝西部複合センターにて）

生津ふれあい広場 活用のための施策は

使用制限の緩和と設備の 充実を図る



安藤由庸議員

た。今後も、より活用されるため、制限の緩和と設備や備品の充実を図りたい。

Q 生津ふれあい広場について、利用度が低いと思われるが、より活用されるための施策は計画しているか。
A 教育長 生津ふれあい広場の利用度が低い原因として、広場周辺への配慮のため、球技の試合を禁止するなど広場の使用制限をかけていること、また設備や備品の不足があった。
これまで使用を禁止していた少年野球、サッカー、フットサルの試合など、コ



熱戦が繰り広げられたサッカーの試合(=生津ふれあい広場にて)

文化財について

Q 新たな文化財が見つかった場合の対応は。
A 教育長 文化財として指定できるか検討することになるが、現在、文化財指定のための基準がない。そのため、基準の策定を進め

ている。また必要によって専門家に調査を依頼する。

Q 柳行李の生産など伝統技術の継承は。
A 教育長 何らかの形で残していく必要がある。まず来年度、ビデオ収録を始めた。

Q 広報みずほの最終ページで美術品が紹介されているが、実物を一般公開するような施策は。
A 市長 管理の問題など難しい面もあるが、文化祭の展覧会などで、展示コーナーを設けてはどうかと思う。

バリアフリーのまちづくりは ハードとソフトの両面で



熊谷祐子議員

Q 市社会福祉協議会が主催するバリアフリー推進講座が8回開かれ、3月には、石井めぐみ氏によるボランティア公開講演会があった。バリアフリーのまちづくりに対する考え方は。
A 市民部長 バリアフリー化にはハードとソフトの両面が考えられる。ハード面では、JR穂積駅の障害者エレベーター、多目的トイレの設置。また駅から南進する県道のバリアフリー化もほぼ終了。障害者に配慮した道路整備を進めていきたい。ソフト面では、心のバリアフリー化が必要。

民生委員や人権擁護委員の活用、バリアフリー講座などで障害者に対する理解を深めることなどが有効な手段だと考える。

正しながら、盲導犬の助成を認めないのはなぜか。
A 市民部長 いろいろな福祉施策があるなかで、市としての優先順位もあり、総合的に判断して取り入れなかった。

りとして、決定権を持つ女性の管理職、地域自治会長、PTA会長を増やしていくという考えは。
A 市長 こちらから押しつけるのではなく、女性側がどう考えているかが大きな問題。PTAも会長職は少ないが、執行部の役員として活躍している方は女性が多い。それぞれのポジションで活躍されており、女性だから、男性だからという条項は設けていない。

Q 地方自治法に自治体の役割は「住民の福祉の増進を図ることが基本」とある。平成17年度補正予算で、障害福祉費1千万円を減額補



ボランティア公開講演会で熱心に語りかける石井めぐみさん(=総合センターサンシャインホールにて)

行政改革大綱の策定は

総合計画基本構想の議決後に



広瀬捨男議員

Q 総務省の指針により、行政改革大綱および集中改革プランの策定および公表が求められているが、その取り組みは。
A 市長公室長 行政改革大綱および集中改革プラン策定の具体的な考え方として、その上位計画である総合計画との整合性を図ることが重要と考えている。したがって、第1次総合計画基本構想の議決を経た後に行政改革推進委員会に諮問し、速やかに公表したい。

常備消防について

Q 常備消防について、消防庁では各本部の管轄人口を30万人規模以上にすることを目安に広域化を進めている。消防庁から、どんな指導があったか。
A 市長公室長 当市の置かれている状況は理解いただいたものの、国は広域化を推進しているのので、岐阜市による消防事務の委託期間をできれば延長し、この間に広域化に向けて消

防体制を図るよう努力すること。また、平成28年までに消防救急無線のデジタル移行を行うことになって

Q 審議会委員はどうなっているか。
A 市長公室長 これから委嘱することになる。
A 市長 委員の構成は、行政の形や動きについて見識を持っている方をお願いした方がいいと思う。

Q 第1次総合計画の実施年度は平成18年度からとなっている。基本構想の内容は予算にはどのように計上されているか。
A 市長 安全・安心して暮らせるまちづくりでは、瑞穂市としての消防体制を設立するための費用を織り込んである。



園庭の草取りをする園児たち(=南保育・教育センターにて)

放課後児童クラブについて

Q 県下の市では、瑞穂市が人口に対する児童数は一番多いようである。少子化対策などからも放課後児童クラブは公設公営とすべきではないか。
A 市長 公設民営でやりたいと思っている。子育てには保護者も何らかの形で関与していただくのが大切ではないかと思う。

コミュニティ・プラントについて

Q 穂積町時代、松野文司町長が公共下水道事業を計画していた。その後、松野幸信町長になってコミュニティ・プラントに変更。しかし接続率も低く、今後の事業方針の目途も立っていない。総括を文章化して、議会や市民に説明責任を果たすべきである。

A 市長 コミュニティ・プラントについては、当初考えていたスタイルで完成した。一つ、大きな誤算は接続率が極めて低いこと。残っている地域の生活排水対策を検討していく中で、今までやってきた生活排水対策の欠点や長所を整理して見直していきたい。

政治倫理条例について

Q 罰則を設け、対象範囲も拡大した政治倫理条例を制定する考えは。
A 助役 現在の倫理要綱でいいのではないかと考えている。罰則の強化など、どの程度が適切かどうか判断しかねる部分がある。議員、市長などを含めて協議してもらえばと思う。



西岡一成議員

総合計画内容の 予算計上は

三つのまちづくりの 視点から計上

交流・連携を生み出す活力あるまちづくりということでは、本田コミュニティセンターの建設を進めていく。地域や人の力を生かしたまちづくりということで、子どもたちが健全に育ってくれるよう、保育の拠点づくりを計画に織り込んでいる。



最新の設備を誇る通信司令室(=岐阜市消防本部にて)

議員紹介です

絆

浅野 楔雄

昭和17年、この世に生を受けて早や六十有余年、様々な経験と経歴を重ねてきた中で、一番感じた事は物の豊かさに恵まれ慣れる程、人と人との繋がりが希薄になり、人心の荒廃が進んできたように感じます。自由や権利のはき違いがその底流にあるように思います。私の子ども頃は、貧しい時代ではありましたが、心の豊かさはあったように思います。富める人、富めない

人も差別する事なく、お互いが助け合ってきた時代ではないでしょうか。人としての尊厳が著しく低下しているのが今の時代ではないかと思えます。核家族が進むことにより家族の絆が薄れ、自分本位の感覚で社会生活が成り立っているように錯覚しているのではありませんか。戦前の家族制度が良いとは言いませんが、古い家族制度の中の良い点は見直すべきと私は考えます。家族制度の良さは年寄りが若い家族を見守り、経験した事を子孫に伝え、時には若い世代から年寄りが

学ぶことも重要ではないでしょうか。時の流れとともに日本人の国に対する思いが変わって来ているのも事実です。私は議員として選ばれた時に思いました。政府が言っている三位一体は間違いだと思えます。『市民行政 議員』これが本当の三位一体ではないかと考えます。市民の皆さまは議員をこき使って、はじめて市民の思いが成就するのではないのでしょうか。私は体を使って動く事が議員の務めと考えております。体力の保持の為に時間の許すかぎりボランティア活動に参加



家族3世代仲良く

しております。若い家族からの意見も今は耳を傾けております。

堀 孝正

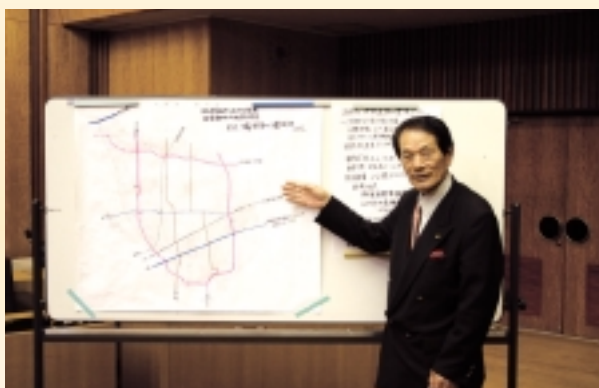
夢のある 瑞穂市に向けて

20世紀後半一九九〇年代、日本の社会経済はバブルとして崩壊し、相乗して土地神話、種々の安全神話が崩れ、更には少子・高齢化が進展し、まさに国家再生とまで言われる政治経済、金融、さらには教育改革が求められて十数年が経過し、ようやくにして、その効果の兆しが見えてきたかと考えています。

このような中であって、

地方行政は極めて厳しく、これまでの国による護送船団方式(画一的政策)から地方の単独航海方式の自主・自立が求められ、平成の大合併がありました。これからの地方都市、このまちの未来に夢を描き、その夢を市民協働で、自分達のまちは自分達で自立させ、住みよい、住んでよかつたと言える「ふるさと・瑞穂」を築いていかななくてはなりません。

瑞穂市は、県内でも一番面積の小さなまちです。政策によっては、岐阜県一よりいまちなると確信しております。市民の代弁者として、意思決定機関として、議会は調査研鑽を重ねて、資質の向上を図り政策提案の出来るように切磋琢磨していかねばと考えています。



議場で提案説明するようす

過去、町議会10年、町長12年の経験を生かして、初心に返り意を新たにに取り組んでいる今日です。

編集後記

6月1日から1週間、水道週間が行われています。水道は健康で文化的な生活を支える上で不可欠な施設であり、水道への理解と関心を高め、水道事業の発展に役立たせようとの趣旨で行われています。

瑞穂市でも古橋の水源地が3月末に竣工し4月より供用開始しています。編集委員一同、皆さんに読まれ、親しまれる広報づくりに一層努力してまいります。(山本)

文庫版の漢詩集を手に入れた。まさに衝動買い。中の2つ3つの詩を、書かれてある読み下し文で読んでみる。理解できないものもあるが、音として楽しむにはいいか。近頃、暗誦や音読が見直されているという。国語力を養成するためらしい何かのためと問わず、言葉を単に音として楽しむだけでもないのか。元々言葉には音しかなかったのだろうか。(安藤)

